

2022年11月9日

株式会社電通デジタル

電通デジタル、データアーティスト社を合併し、 AI 技術開発力を強化 -企業のDXをAIとビッグデータでさらに加速-

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：川上 宗一 以下、電通デジタル）は、電通グループでAI（人工知能）開発をリードしてきたデータアーティスト株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：山本 寛 以下、データアーティスト）を、2023年4月1日付で合併いたします。

電通デジタルは、国内最大級のデジタルカンパニーとして、約1,100社のクライアント企業のビジネスを支援しています。企業の持続的成長に必要なDX（デジタルトランスフォーメーション）、事業変革、顧客体験デザイン、メディア、クリエイティブ、コマース、グローバルなど多岐にわたる経営課題を、データとテクノロジーを駆使した高度な専門性によって解決し、多くの企業の成長に貢献し続けてきました。現在では約2,200名を超えるデジタルの専門家が集まり、世界中のテクノロジー企業やプラットフォーム各社とのパートナーシップを強化しながら、多くのビジネス課題の解決に尽力しています。そしてこの度、電通デジタルはさらなる企業課題の解決、イノベーションの積極的創出に向けて、国内外の有力なデジタル企業とのM&Aを成長戦略のひとつとして位置づけ、データアーティストの合併を決定しました。

データアーティストはAI開発とビッグデータ分析に強みを持ち、独自のプロダクトやDX支援サービスを提供するAIカンパニーです。これまでも、電通グループ独自のデータマーケティングプラットフォーム「People Driven DMP®」※1、AIを活用してテレビ視聴率を予測し広告枠の最適運用を行う「SHAREST/RICH FLOW」※2、複数のデータクリーンルーム環境を一元管理する「TOBIRAS」※3、企業のオウンドメディアにおける「AI活用型コンバージョン率改善サービス」※4、SNSユーザーを趣味嗜好で区分しコミュニケーションを最適化する「Tribe Driven Marketing」※5など、電通グループにおける中核的なデータソリューション開発を支えてきました。

また、グローバル水準の高度なIT人材の育成に注力するモンゴルに開発拠点を有し、最先端のAI研究開発を推進しており、東京大学未来ビジョン研究センターとの共同研究による技術的深度の探求を継続的に実施するなど、高度な技術と専門性を強みとしています。

これまでも両社は、AI/データ活用による広告効果最大化のためのソリューション開発や、企業DX支援などで協業実績を積み重ね、昨今では電通デジタルと株式会社電通が構成する電通グループの横断組織「電通クリエイティブインテリジェンス」※6に参画し、クリエイティブ制作プロセスへのAI活用における共同研究、プロダクト開発に注力してきました。

本合併により、電通デジタルはAI技術開発力とビッグデータ解析を事業の中核に組み込み、今後クライアント企業の様々な経営課題・事業課題を解決いたします。また、グローバル水準の高度なIT人材の採用と育成を強化し、国内外をネットワークした人的資本経営を推進いたします。

■本合併の日程

合併効力発生日（予定）：2023年4月1日

■本合併の方式

電通デジタルを存続会社、データアーティストを消滅会社とする吸収合併方式で行います。

■本合併当事会社の概要

社名：株式会社電通デジタル（存続会社）

本社所在地：東京都港区東新橋 1-8-1

代表者：代表取締役社長執行役員 川上 宗一

設立年月日：2016年7月1日

資本金：4億4250万円

従業員数：2,267名（2022年11月1日）

社名：データアーティスト株式会社（消滅会社）

本社所在地：東京都港区東新橋 1-8-1

代表者：代表取締役 山本 覚

設立年月日：2013年6月21日

資本金：9,999万円

従業員数：単体：66名（派遣、アルバイト含む）連結：109名（2022年11月1日）

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

国内最大級のデジタルマーケティング会社として、データとテクノロジーを駆使した次世代マーケティングの戦略策定・実行、その基盤となるITプラットフォームの設計・構築、クライアントの事業革新を支援するDXコンサルティングなどのサービスを提供。国内外のプラットフォーム各社との緊密なパートナーシップのもと、高度な専門性と統合力により、クライアントの事業成長に貢献しています。

<データアーティストについて> <https://www.data-artist.com/>

人工知能とデータアナリティクスのソリューション提供に特化したグループ内でもユニークな企業。「AI モジュール」「DX 支援」「マーケティング AI」の3事業を展開し、社会・企業課題の解決を行っています。2013年設立後、2018年電通グループに参画。

※1：People Driven DMP®は、PCやスマートフォン由来のオーディエンスデータと、テレビの視聴ログデータ（STADIA）、ウェブ広告接触データ、OOH 広告接触データ、ラジオ聴取ログ、パネルデータ、購買データ、位置情報データなどを人（People）基点で活用することができる、People Driven Marketing®における電通および電通グループ独自のデータ基盤です。さらなる強化のために、People Driven パートナーシッププログラムを通じ、「メディア/コンテンツ」、「デジタルプラットフォーム」「EC・購買」「パネル/メジャント」「位置情報」などの各種パートナーと、データやテクノロジーの連携によるビジネス・アライアンスを推進。なお、People Driven DMP®では、個人情報の保護に関する法律に定める個人情報は扱っていません。

※2：AI活用で、120日先のテレビ視聴率予測が可能に（データアーティスト 2022年9月30日発表）

<https://www.data-artist.com/news/p20220930.html>

テレビ広告の投資対効果を最大化する「RICH FLOW（正式版）」提供開始（データアーティスト 2022年10月5日発表）<https://www.data-artist.com/news/p20221005.html>

※3：電通デジタルと電通、複数のデータクリーンルーム環境を一元管理する「TOBIRAS」を開発（2022年8月25日発表）<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2022-0825-000040>

※4：データアーティストと「AI活用型コンバージョン率改善サービス」をパッケージ化（2021年12月9日発表）<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2021-1209-001139>

※5：SNSユーザーを趣味嗜好で区分した“トライブ”基点の独自分析を行う統合フレームワーク「Tribe Driven Marketing」を提供開始（2022年9月8日発表）

<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2022-0908-000037>

※6：電通デジタルと電通、AIの活用による「創造力の拡張と広告クリエイティブの効果最大化」に向けて東京大学AIセンターと共同研究を開始（2022年9月1日発表）

<https://www.dentsudigital.co.jp/news/release/services/2022-0901-000041>

以 上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部 竜野

TEL：03-6217-6036 Email：press@dentsudigital.co.jp